日本工学院専門学校		開講年度	2019年度	科目名	資格対策講座2
科目基礎情報					
開設学科	情報処理科	コース名	システム開発コース		開設期
対象年次	1年次	科目区分	選択		後期
単位数	2単位				時間数
教科書/教材	プリントで配布				授業形態
講義					
担当教員情報					
担当教員	山本 純士・清水 孝之・三島 秀三・藤本 海艶			実務経験の有無・職種	有・システムエンジニア
学習目的					
<p>専門学校の目的は各分野の専門技能を身に付けたスペシャリストを社会に送り出すことである。その人材は専門分野に長けていることはもちろん、社会人としての資質も身に付けておく必要がある。本講座では働く意味を明確にし、学生と社会人との違いを認識するとともに、社会人になるための道筋、つまり就職活動の手順と方法を学ぶことが目的である。具体的には筆記試験の問題が解けること、履歴書やエントリーシートが書けること、面接試験に対応できることが目的である。</p>					
到達目標					
<p>本講義を受講した学生が、ソフトウェア開発で出題されている1つ1つの命令を意味を説明できること、簡単な例題のプログラム等を読解できること、基本情報技術者試験の午後問題で出題されている問題の内容を理解できること、出題されるプログラム等を読解して、解答を求めることができることを目標とする。</p>					
教育方法等					
授業概要	<p>この授業では、ソフトウェア開発問題のプログラム等で使用される各種命令を数個ずつ解説し、例題を使って学んだ命令の使われ方を学ぶ。その後、簡単な課題のプリントを使って、命令数の少ないものから多いものまでを段階的に解くことによって、問題文やプログラム等の読解力を養い、基本情報技術者試験の午後問題で出題される問題を解答できるようになることを目指す。</p>				
注意点	<p>資格試験は、講義時間内の学習だけでは合格困難であり、学生自身が主体的に自宅学習を進めることが肝要である。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応をする。理由の無い遅刻や欠席は認めない。講義に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーを守ることを求める。(詳しくは、最初の授業で説明。)授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。</p>				
評価方法		割合	備考		
	試験・課題	80%	配布するプリントの解いた問題数によって評価する		
	小テスト	0%			
	レポート	0%			
	成果発表 (口頭・実技)	0%			
平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する			
授業計画(1回～15回)					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	言語解説(1)	学んだ言語の命令を使った簡単な例題のプログラムを読解できる			
2回	言語解説(2)	学んだ言語の命令を使った簡単な例題のプログラムを読解できる			
3回	言語解説(3)	学んだ言語の命令を使った簡単な例題のプログラムを読解できる			
4回	言語解説(4)	学んだ言語の命令を使った簡単な例題のプログラムを読解できる			
5回	言語解説(5)	学んだ言語の命令を使った簡単な例題のプログラムを読解できる			
6回	言語解説(6)	学んだ言語の命令を使った簡単な例題のプログラムを読解できる			
7回	言語解説(7)	学んだ言語の命令を使った簡単な例題のプログラムを読解できる			
8回	言語解説(8)	学んだ言語の命令を使った簡単な例題のプログラムを読解できる			
9回	言語解説(9)	学んだ言語の命令を使った簡単な例題のプログラムを読解できる			
10回	言語解説(10)	学んだ言語の命令を使った簡単な例題のプログラムを読解できる			
11回	課題演習(1)	過去問題などの課題プログラムを読解して、解答を求めることができる			
12回	課題演習(2)	過去問題などの課題プログラムを読解して、解答を求めることができる			
13回	課題演習(3)	過去問題などの課題プログラムを読解して、解答を求めることができる			
14回	課題演習(4)	過去問題などの課題プログラムを読解して、解答を求めることができる			
15回	課題演習(5)	過去問題などの課題プログラムを読解して、解答を求めることができる			